



1号館正面玄関にて

2011年度聖句

受けるよりは与えるほうが幸いである
 (使徒言行録20章35節)



いずみちゃん クラークくん

(クラーク学園和泉短期大学のマスコットキャラクター)

izumi ニュース Vol.11

和泉短期大学 広報渉外ユニット

発行責任者 理事長 深町 正信

〒252-5222 神奈川県相模原市中央区青葉2-2-1

TEL.042-754-1133 (代表)

URL.http://www.izumi-c.ac.jp

子育て講座 「絵本からの贈り物」開催に寄せて 松浦 浩樹…………… 3

特集 ステンドグラス完成祝賀展…………… 2
 クリスマスツリー点火祭…………… 2

izumi TOPIC

- 女子バスケット部全国私立短期大学体育大会優勝…………… 4
- 国際ナショナル・ソーシャルワーク…………… 4
- リユニオンの会…………… 4
- オレンジリボンキャンペーン…………… 4
- 奨学金資格者紹介…………… 5
- さがみはら節電大賞受賞…………… 5
- 耐震診断結果…………… 5
- 「防災倉庫に関する覚書」締結…………… 5
- ジム・エマソン氏来校…………… 6
- 高校新任教員の社会体験研修…………… 6
- 「いずみ山荘」敷地返還完了届の承認…………… 6
- 伝導師(牧師)に就任して…………… 6
- CDセンター親子開放日のお知らせ…………… 6

ステンドグラス完成 祝賀展を迎えて

教授 佐藤 守男

この度、本学の創立にゆかりのある銀座教会で12月6日から11日までステンドグラス完成祝賀展を開くことができました。

このステンドグラスはアンティークガラスで全て制作されており、日本においても大変貴重なものとなりました。一つの大きさは縦1735mm 横1500mmで、和泉クラーク・ホールの東西上方の窓10枚に設置されています。

一つの窓が正方形に近いものですから、デザインを中世風に、そして青色のガラスを基調にという2つのコンセプトで、ステンドグラスサプライの石川佳代様とともに2004年から制作を始め、2011年10月に完成いたしました。

無事完成を迎えるにあたり、主なる神のお導きと祝福、また皆様のご協力を心より感謝申し上げます。



降誕

磔刑

復活

子供を祝福するキリスト

キリストの泉

善いサマリア人

クリスマスツリー 点火祭開催

2011年クリスマスツリー点火祭は11月28日(月) 16時30分より和泉クラーク・ホール前広場で開催されました。学生聖歌隊の前奏に始まり、ハンドベル履修生による讃美、チャペル委員によるペープサート、伊藤学長によるクリスマスツリー点火宣言につづき、17時に点火されました。



保育者が学ぶ・保育者と学ぶ 子育て講座

「絵本からの贈り物 —絵本は子どもを幸せにする—」 開催に寄せて

准教授 松浦 浩樹

和泉短期大学保育就業力向上推進プログラムの子育て講座『絵本からの贈り物』の第3回目が10月22日(土) 15時より16時30分まで3号館(和泉クラーク・ホール)で開催されました。当日は、「いずみ祭」(学園祭)も開催されており、学生のみならず、卒業生、学生の父母、地域の保育者や子育て中の保護者など、200名近くの幅広い方々の参加がありました。この企画は、学生や地域の保育者・保護者が「絵本」を通じて児童文化を学ぶ機会を提供したいという思いで、約1年の時間を費やして実現いたしました。本来は、全4回の開催の内、第1回目の講座をキャリアデザインセンター完成披露会の中で催し、長山篤子先生と花田景子氏による絵本の読み聞かせを含めた対談で絵本のもつ力について語って頂き、後の3回の講座にて、長山先生の絵本についての理論と実践についてお話頂く計画でした。ところが、3.11の震災により、計画の変更を余儀なくされ、改めて3回の講座に再構成いたしました。また父母会・後援会の協力を頂き、共催という形で時が与えられ、いずみ祭において、華々しく講座を開催することが可能になったのでした。

まず、本学特任教授の長山篤子先生より、絵本の世界に触れ、大人が読み聞かせることが子どもを幸せにする話を実践に根差した研究に裏打ちされた理論を分かりやすく、豊かに語ってくださると共に、読み聞かせ『さるのひとりごと』(童心社)をパイプオルガンの演奏と共に実演してくださいました。恐らくこのような取り組みは



▲左から、本学特任教授長山篤子先生と花田景子氏

日本でも珍しい実践であると思われます。

続いて、ゲストの花田景子氏(元フジテレビアナウンサー、第65代横綱綱乃花関夫人)も続いて「絵本は子どもを幸せにする」との観点で語って下さいました。花田氏は、ご自身の3人のお子さんの子育てや、相撲部屋での稽古を通じたお弟子さんの成長を支えておられる姿など、数々のエピソードをお話しと共に、お気に入りの絵本、スーザン・バーレイの『わすれられないおくりもの』の読み聞かせをもって、講演は終了しました。

参加者は、文化として放つ絵本の力を学び、長山先生と花田氏の読み聞かせによって、暖かく幻想的な雰囲気に入れられ、幸せな気分が会場を後にされていっしょにしました。

今回の3回連続講座のタイトルは長山篤子先生の著書『絵本からの贈りもの』(日本キリスト教団出版局)から拝借させて頂いたものです。絵本からの贈り物が「子どもを幸せにする」、子どもに幸せをもたらす絵本の贈り物とは何であったか、連続した他2回の講座【1.絵本と保育:読み聞かせの実際 2.絵本作家を語る:アロイス・カルジェ 赤羽末吉】の開催を含め、長年の子育ての場にかかわられた上での長山先生のお話、我々は今一度省み、心に留めながら、次世代に、相模原に、香り高さ児童文化を放たねばならない思いが与えられました。あらためて感謝申し上げます。最後に、教員側からの企画の意図を汲んでくださり、多大なるご協力を賜りました父母会・後援会の方々に厚く御礼申し上げます。

快挙 女子バスケットボール部 第46回 全国私立短期大学体育大会 Bブロック優勝



2011年8月9日～11日にかけて行われた第46回全国私立短期大学体育大会女子バスケットボール競技会において、本学チームが快挙を成し遂げました。3年前に創部し、初めて臨んだ大会では、1回戦の壁を突破することは出来ませんでした。それから2年、和泉短期大学の名称が優勝トロフィーに刻まれることとなりました。次年度より1部リーグに当たるAブロックで戦っていくことになります。初戦突破が次なる目標となりますが、5年後、10年後に和泉短期大学がAブロックの決勝で戦っていることも夢でないかもしれません。(女子バスケットボール部監督 准教授 大下 聖治)

各試合スコア

1回戦	和泉短期大学	87-55	修文大学短期大学部
2回戦	和泉短期大学	78-55	青山学院女子短期大学
3回戦	和泉短期大学	84-34	信州豊南短期大学
準決勝	和泉短期大学	61-41	信州短期大学
決勝	和泉短期大学	77-50	京都文教短期大学

インターナショナル・ソーシャルワーク

本学のインターナショナル・ソーシャルワークの授業では、毎年夏休みを活用して、韓国にある児童養護施設、学童クラブ、保育園、社会福祉施設で見学実習を行っています。施設に入所している子どもや施設に通ってくる地域の子どもたちと交流し、一緒に工作をしたり、手遊びを披露したりします。

韓国実習を終えて(2011年 7月31日～8月4日・4泊5日間)

児童福祉学科2年 小川 恵

私たちの班は、児童養護施設で絵を塗り、それをうちわにするという製作をしました。今までの実習では、1人で計画をして、1人で実施をしたことがなかったので、前日に班の人たちと打ち合わせや準備をしながら、実際に保育園などに就職したとき、このように他の先生方と話し合うのかなと思いました。

本番では最初は子どもたちの方を向いて、説明をしていましたが、予想以上に早く製作が終わってしまったため、急ぎよ折り紙を折ることになり、焦って通訳のべさんばかりを見て話してしまいました。自信を持って子どもの方を見れば良かったです。

お昼ご飯の焼き肉では、養護施設の男の子の隣に座り、通訳ボランティアの学生さんを通じてごはんをもらったり、焼き肉を作ってもらいました。言葉の意味を理解するのは難しかったですが、手を握ってくれて感動しました。

施設内は私が実習に行った児童養護施設とは違い、壁にたくさんの絵が描かれていたり、心理室も子どもが「カウンセリングされている」とかまえないように、「虹」「空」などの部屋名が付いていたり工夫がされていました。心理室と聞くと、暗かったり堅いイメージがありましたが、その点に配慮されていると思いました。

私は主に、自分が実習を行った児童養護施設での思い出が印象的でしたが、海外の施設やそこに勤める方々と触れ合えてとても勉強になりました。また、ゆかたを着たことで、日本の文化にも興味を持ってもらえて嬉しかったです。



学位記授与式(卒業式)に代わる「リユニオンの会」開催

東日本大震災により今春の卒業生は、「卒業感謝礼拝」、「卒業式」及び「卒業パーティー」を中止し、卒業証書・学位記を事務局で受け取り卒業しました。大学としては、卒業生が新しい生活に慣れた頃にお集まり頂き、卒業を祝う会を行いたいと計画しており、また卒業生からも卒業式に代わる会の開催を望む声が上がっており、11月6日(日)14時から「リユニオンの会」が開催されました。

リユニオンの会を開催して

児童福祉学科 第45回卒業生 門馬 冴華

教職員方をはじめ、参加者のみなさんなど、たくさんの方々にご協力いただきましてありがとうございました。仕事を終えてからその足で和泉へ向かい打ち合わせをするため予定が合わず、参加者が思うように集まるか不安ながら、内容を組み立て、お花の手配など、大変なこともありました。

当日は、久しぶりの再会に震災により本来の卒業式は出来ませんでしたが、楽しい時間を過ごせたのではないかと思います。

このような機会を設けていただき、みんなの楽しむ姿を見て、仕事と両立しながらも計画を進めることが出来て良かったと感じました。



児童虐待防止推進活動・オレンジリボンキャンペーン

11月は「児童虐待防止推進月間」です。本学が所在する神奈川県相模原市では、「産」「官」「学」の連携により、子どもの虐待を防止する活動を展開しています。

オレンジリボンキャンペーンに取り組んで

児童福祉学科2年 福田 愛

児童虐待防止運動として私はオレンジリボンの製作をし、相模原市の職員の方や警察の方と協力して配布をさせて頂きました。学校で児童福祉を学び、近年虐待件数が増えていること、想像以上に深刻な問題であることを知りました。私は近所や地域、周りの人たちが見守って助け合って子育てが出来れば、きっと虐待は防げると 생각합니다。私がオレンジリボンを製作したり配布することは簡単なことかもしれませんが、その過程で学生や地域の方が一人でもオレンジリボンってなんだろうと関心を持ってもらえたら、とても意味のあることだと思っています。だからこそ配布する上では、ただ通りすぎる人にも私の声を聞いて下さった方にはみなさんにありがとうございましたと言葉を添えるようにしています。



▲小田急線「相模大野」駅前にて

奨学金(児童福祉奨学金・特待生(スカラシップ))資格者

本学では学業成績・人物ともに優秀な学生を経済的に支援するために、さまざまな学生奨学金及び特待生制度(給付)を採用しています。今年度は以下の学生が、支給および給付を受けました。

資生堂児童福祉奨学金奨学生/和泉短期大学 児童福祉奨学金奨学生 児童福祉学科1年 小林 裕美

私は正直、大学進学が厳しい状況でした。それは、高校を卒業したら児童養護施設を退所して、一人暮らしをしなければいけなかったからです。それだけではなく、親からの援助も期待できず、金銭面も大変厳しい状況だったからです。しかし、全国の養護施設の子どもの中で5名という狭き門の資生堂奨学金が奇跡的に受かることができたのです。

私は奨学金のおかげで学校に通えているので感謝の気持ちを忘れず、児童養護施設の職員になるという夢を叶えるために、勉学に一生懸命励みたいと思っています。

2011年度和泉短期大学特待生制度 奨学生 児童福祉学科1年 小林 陸

私は本学の特待生制度を利用して、学生生活を送っています。特待生制度を受験しようと思ったきっかけは、家庭の経済的負担を減らして妹や弟の大学進学を叶えたいと考えたからです。高校時代は積極的にボランティア活動に取り組み、子どもと関わる機会を作りました。

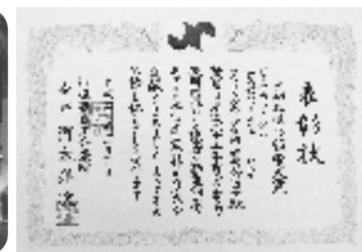
2年間の学生生活では特待生であるという自覚を持ち、学べることに感謝しながら、自分の夢を実現させるために有意義な学生生活を送っていきたくと思っています。

『さがみはら節電大賞』受賞

東日本大震災による電力不足に対応するために、本学においては、学生、教職員、大学関係者の協力により、節電の取り組みをしております。11月の時点で、契約電力量及び電力使用量において、前年度比約30%の削減をすることができています。

その結果、相模原商工会議所より、「さがみはら節電大賞」の削減量部門とピークカット部門の2部門で受賞しました。

また、経済産業省資源エネルギー庁より「節電達成証」を頂きました。関係各位のみなさまのご協力に感謝いたしますと共に、引き続き節電に努めて参りますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。



和泉短期大学校舎は

「耐震診断」の結果、安全基準に達し、耐震性を確保しています。

本学の1号館、2号館は1976年に建設いたしました。1995年1月に発生しました阪神・淡路大震災により、地震に対する安全性を確保するため、建築物の耐震改修を促進することを目的とした「建築物の耐震改修の促進に関する法律」が1995年12月に制定されました。

本学では、新耐震法制定以前に建設した校舎(1号館、2号館)の耐震診断を右記の通り行い、安全基準に達し、耐震性を確保しているとの診断結果になりました。



1号館

2号館

1号館(本館)

第1回耐震診断 3棟
耐震診断日 1996年10月2日 施工会社 戸田建設株式会社 横浜支店
耐震診断結果 建物の構造耐震指標の基準値を上回り、耐震性を確保している。

第2回耐震診断 2棟
耐震診断日 2010年6月26日,27日 施工会社 戸田建設株式会社 横浜支店
耐震診断結果 建物の構造耐震判定指標を上回り、耐震性を確保している。

2号館(研究棟)

第3回耐震診断 1棟
耐震診断日 2011年6月6日 施工会社 戸田建設株式会社 横浜支店
耐震診断結果 耐震安全性については「安全」、すなわち「想定する地震動に対して所要の耐震性能を確保している」

『防災倉庫の設置及び共同利用に関する覚書』の締結について

2011年11月9日(水)相模原市役所危機管理室の応接室において相模原市長加山俊夫氏の立会いの下、本学と青葉二丁目自治会は、大規模災害に対する事前準備を目的とした「防災倉庫の設置及び共同利用に関する覚書」の締結を行いました。

防災倉庫は、芝地多目的広場に設置し、学生や教職員が帰宅困難になった場合に備えて乾燥米飯、乾パン、飲料水、食器、毛布、発電機、多機能手回しラジオ等を備蓄しております。



◀芝地多目的広場

▶左から、伊藤学長、土橋事務局長、深町理事長、加山相模原市長、板垣自治会長、宮崎副会長



チャイルド・ファンド・アライアンス初代事務局長 ジム・エマソン氏来校



◀前列中央が
エマソン氏

本学園の設立当初から強い協力関係にあるチャイルド・ファンド・ジャパンが加盟している国際的なネットワーク組織である、チャイルド・ファンド・アライアンスの初代事務局長ジム・エマソン氏が本学に来校されました。

来日の目的は、チャイルド・ファンド・ジャパンが取り組んでいる東日本大震災で被災した岩手県大船渡市の緊急・復興支援事業の視察及び助言です。また、本学とバット博士記念ホームを訪問され、歴史的な歩みについても理解を深めていただきました。

本学園からは深町理事長、伊藤学長、土橋事務局長が懇談を持ち、チャイルド・ファンド・ジャパンの小林 毅事務局長の通訳により本学園の施設を見学され、感激されていました。

高校新任教員の社会体験研修



▲左から、北野先生、郷原先生

和泉短期大学では、初任の教諭に対して社会人としての自覚を高めるとともに、組織の一員としての意識を高めることを目的とした初任者研修を高等学校からの要請により受け入れています。



「5日間を終えて」

研修を通じて感じたことは、和泉短期大学の学生と職員の距離が近いということです。図書館業務では、職員が書架の整理整頓や書籍の管理など、地味で大変な作業を行いつつも、利用者への声掛けを欠かさず、きめ細かなサービスを行っていることに感心させられました。また、事務室の業務においても、職員は学生が来ると窓越しではなくわざわざ外へ出て笑顔で対応しておられ、とても和やかな対人環境だと感じました。5日間という短い間でしたが、他者への気配りを学んだと同時に、我が高校からも多数の卒業生が通い、よくやってくれているという言葉を受けて、正直嬉しく思いました。

● 神奈川県立相模田名高等学校教諭 郷原 裕貴 先生・北野 冬馬 先生

伝道師(牧師)に就任して

二十八年前、クラーク学園和泉短期大学を卒業し、幼稚園、保育園と保育者としての経験を経てきましたことは、私のこれからの牧師のつとめにたいへん役立つものと思っております。牧師は幼子や障害を持っている方々への配慮は欠かせない大切な業であると思います。牧師は、人に神の御言葉を語ると同時に、神のみ声に耳を傾けることが求められていると思っております。

時には孤独ではないか、と寂しくもなります。去年までは夫が主任担任教師で、私はその後を追って行けば良い立場でした。しかし今年からは、小さな群れとは言え、四十人ばかりの信徒の主任担任教師として責務を担う立場となり、想像以上に難しい事がある、と感じ始めました。まず説教に臨まなければなりません。これも私自身がまだまだ沢山の学びをしていき、神様の真実の言葉を探していかなければなりません。信徒さん、お一人お一人の生涯を思い、いのちと向かい合って歩む仕事は、いつもの私の楽観的な思いだけでは、進まないのだと思いました。

「人は恐れず、神を畏れる」の精神で頑張りたいと思っております。

児童福祉学科 第18回卒業生 田尻 かおり



2011年10月16日(日)
就任式が行われた日本キリスト教団高崎南教会にて(左・学長)

「いずみ山荘」敷地の返還の完了届が承認されました

いずみ山荘は、2006年6月30日をもって閉荘いたしました。山荘建物の敷地が国有地であったため、原状回復及び緑化措置のため長野県の東信森林管理署と「許可により使用させていた物件の辺地に係る瑕疵担保責任

に関する協定」を締結し、4年間の責任期間が満了いたしましたことをご報告いたします。

(法人事務局)

CDセンター親子開放日のお知らせ

毎週木曜日 10:00~15:00

特にプログラムはありません。素敵なおもちゃや絵本で自由に遊んでいただけます。(利用料:傷害保険料込み/1回100円)



子育てサロン『はっぴい』は、2011年4月から“子育てひろば”『はっぴい』として、キャリアデザインセンターで新たな一歩を踏み出しました。また、新たに“CDセンター親子開放日”が2011年12月から開始されました。どうぞご期待ください。